

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会
第87回 ASCセミナー

リビア紛争と地域・国際情勢の連動
：不安定化の要因と今後の展望

北アフリカのリビアでは、2021年12月に予定されていた大統領・議会選挙が延期され、「1つの国に2つの政府、2人の首相」が併存する事態となった。2023年9月に同国を襲った大洪水は、2011年の「アラブの春」以降の政治的苦境を改めて浮き彫りにした。

リビアの不安定化は地中海を越えて欧州を目指す移民・難民の問題、テロ組織や反政府武装勢力の活動、世界のエネルギー市場に与える影響などから、国際社会を揺さぶってきた。本講演では、リビアにおける政治対立・紛争の要因、周辺国や国際社会への影響について分析し、今後の展望を議論したい。

2024年1月16日(火)

16:00~17:30

ZOOMによるオンライン研究会

■ 報告者 小林 周氏

一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 主任研究員
(2021年4月~2023年4月 在リビア日本大使館 書記官)

■ コメント 武内 進一氏

東京外国語大学 教授/現代アフリカ地域研究センター センター長

■ 司会 中山 裕美氏

東京外国語大学 准教授

※本企画は2023年度東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの支援を受け実施されています。

東京外国語大学国際関係研究所

 www.tufs.ac.jp/common/fs/iir/

 iir-office@tufs.ac.jp (国際関係研究所事務局)



African Studies Center
Tokyo University of Foreign Studies